

青い波北陽台

平成31年 2月28日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 野中 光治

「コミュニケーション」

教頭 古賀 巖

「コミュニケーション力」、最近よく耳にする社会で必要とされる力の一つです。日本経団連の調査では80%以上の会社が採用時に重視し、これは10年連続トップなのだそうです。普段、皆さんは家族や友人とどのような形でコミュニケーションをとっているのでしょうか？一般にコミュニケーションの種類には大きく「バーバルコミュニケーション」（会話や文字などの言語的コミュニケーション）と「ノンバーバルコミュニケーション」（表情や視線、ジェスチャーなど非言語的コミュニケーション）があるといわれています。皆さんはどちらを重視していますか。これにはメラビアンの法則というものがあり、これによると我々が重視するのは行動態度が55%、声の大きさや質が38%、言語の意味そのものは7%だそうです。つまり人がコミュニケーションを取るうえで90%以上は言語以外の部分を重視しているそうです。授業中や友達との会話を思い出してください。先生の声の大きさや質、友達のちょっとした表情や動きを見て、相手の思いや感情を理解しようとしているはず。しかし現代は通信機器の発達でメールやLINE、Instagramなど表情や行動が見えない文字や切り取った映像だけのコミュニケーションが多くなっています。そしてその情報だけで様々なことが伝わったつもりでいるのです。ではどうしたらコミュニケーションを上手く取ることができるようになるのでしょうか。一つ目は「自分の殻を破る」です。難しいかもしれませんが、コミュニケーションを取るうえで大切なのは「自分を知らせてもらう」ことなのです。自分を隠したままでは相手もなかなか入ってこられません。二つ目は「他者を受け入れる」です。例えばグループで話しているときにわざわざ場の雰囲気を悪くしようと思って話す人はいません。その場で「目的」や「想い」は共有できるはず。ですからコミュニケーションを取るときに「自分のしたい話をする」ではなく「相手が聞きたい話をする」という気持ちと、「相手の受容量を少しだけ配慮する」気持ちをもって会話をすれば、これまでよりずっとコミュニケーションが取りやすくなりますよ。

これから3年生は卒業して新しい世界に旅立ちます。また在校生もクラスや担任が代わり新たな人間関係を築いていく必要があります。そんな時「肝心なものは、目に見えない」ことが多いものです。だからこそ相手の「想い」を理解しようとするのが大切になってきます。SNSでのコミュニケーションは便利ですが、相手の「想い」を理解するには不完全なものに感じます。皆さんの新年度が楽しく目と目が合ったコミュニケーションで彩られることを願っています。

ラグビー九州大会

2月16日から20日にかけて、長崎市総合運動公園かきどまりの会場にて「第41回全九州高等学校新人ラグビーフットボール大会」が行われ、長崎北陽台高校ラグビー部は、長崎県代表として出場しました。当日は、校内定期試験と重なり、勉強と部活の両立を強いられる苦しい戦いとなりましたが、選手たちは全力を出し切り、戦い抜きました。結果的には第3位となり、2年連続6回目の「全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会」の出場権を得ることができました。

《試合結果》

2月16日(土) 長崎北陽台高校 89 - 0 九州学院高校(熊本県2位)

2月17日(日) 長崎北陽台高校 60 - 5 鹿児島玉龍高校(鹿児島県1位)

《準決勝》

2月18日(月) 長崎北陽台高校 14 - 21 佐賀工業高校(佐賀県1位)

《3位決定戦》

2月19日(火) 長崎北陽台高校 43 - 19 大分舞鶴高校(大分県2位)

2年生修学旅行

1月28日(月)から2月2日(土)にかけて、A団とB団の2グループに分けてシンガポール・マレーシアへの修学旅行に行きました。現地では、学校交流や企業訪問などを通して海外の文化を学び、ホームビジットでは実際に衣装を借していただいたり、郷土料理を食べたりしました。慣れない英語で一生懸命コミュニケーションをとり、学びの多い修学旅行となりました。



各学年より

1学年主任 林 圭介

「学年末試験終了」

1年生最後の定期試験「学年末試験」が終了して、ただいま答案返却の真っ最中です。試験の結果を見て、それぞれどのように感じているでしょうか。残念ながら、学習を放棄してしまったような人が、少々見受けられます。嫌なことやきついことから逃げていないかどうか、よく反省をしてもらいたいと思います。

嫌なことやきついことにしっかり向き合い、きちんとした結果を出していけるところに、その人の人間性があるんだと思います。勉強は、ただか教科の知識を身につけるだけ、と思っている人もいるでしょうが、この人間性を鍛えていく一つの方法だとも思います。粘り強く、結果が出せるように努力を続けていきましょう。

この季節は、進級・進学などが身近に実感できるので、高校卒業後、大学卒業後、自分はどうしているだろうか、と将来を想像してみる良い機会だと思います。来年度への目標も新たに、さまざまなことに積極的に取り組んでいきましょう。

2学年主任 下村 かおり

海外修学旅行を終えて

4泊5日に渡るシンガポール・マレーシアへの海外修学旅行も、無事に終了することができた。年明けから凧揚げ大会、修学旅行と行事が続き、それぞれの成功に向けて39回生は一生懸命に取り組んだと思う。マライオン公園やガーデンズ・バイ・ザ・ベイなどの観光地や、マレーシアでの学校交流とホームビジット、日系企業訪問、班別市内研修、セントーサ島での自主研修、シンガポールフライヤー（観覧車）、ナイトサファリ・・・と盛りだくさんの内容だったが、それぞれの研修について生き生きと活動する様子がとても印象的だった。周囲に配慮し、互いに協力しながら活動する場面が多々見られ、嬉しくなった。ホームビジットで現地家庭を訪れ民族衣装を身に付けて郷土料理を手でいただいたり、企業訪問で、海外で働くということ、将来グローバル社会で活躍するために高校・大学時代にやっておくべきこと、などの視点から話を聞いたりなど、初めての経験に大きな刺激を受けたのではないと思う。この体験をただ過去の出来事ですませるのではなく、自分の将来の糧として、是非、今後の高校生活に生かしてほしい。

3学年主任 池田 裕一

Starting Over

38回生の皆さん、いよいよ卒業ですね。まだ進路が決定していない人がほとんどなので、あまり実感がないのが正直なところかも知れません。（お互い様ですが。）

ただ、3月1日が皆さんにとって大きな節目の日であることはまちがいありません（たとえ2日から中後期指導があろうとも）。「Evolution～1000日の進化」というスローガンを掲げてスタートした皆さんの北陽台高校での日々もついに終わりを迎えることになるのです。

でも、忘れないでください。皆さんの「進化」自体が完成したわけではありません。これから、成人式を迎え、社会に出て、自立していく過程の中にこそ本当の「進化・深化」が求められるのだと思います（ちなみに私ぐらいになるともはや「老化」しか残されてません）。

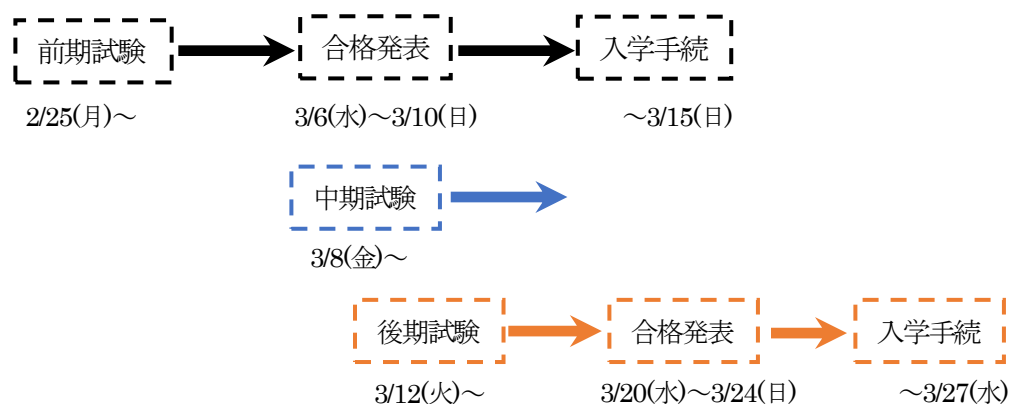
皆さんがこの学舎で過ごした1000日あまりの思い出が、その新たな「進化」のための糧になることを信じています。さあ、「Evolution～第2章～」を始めましょう。「終わりは始まり」だと誰かが言ってましたよ。

いざ本番！ / 3年生国公立大学2次試験

国公立大学で一般入試の前期日程が25日から始まり、合格を目指して受験生が真剣な表情で試験にのぞみました。北陽台高校では、前日の24日まで質問をしに登校する生徒も見られ、最後の最後まで必死に取り組んでいました。

38回生が志望校合格の花を咲かせられることを祈っています。

《国公立大学 2次試験スケジュール》



9月の主な予定

- 1日(金) 第38回卒業証書授与式
- 2日(土) 土曜自学(1・2年)
- 4日(月) 2年理数科内課題研究発表会
- 5日(火) 高校入試会場設営・大掃除
- 6日(水)～8日(金) 11日(月) 高校入試(生徒登校禁止)
- 12日(火) 国公立大学後期試験 2年教室移動
- 14日(木) 教科書販売
- 15日(金) 高校入試合格発表
- 16日(土) 土曜自学(1・2年)
- 18日(月) 第1回合格者オリエンテーション
- 19日(火) 校内競技大会 2年教室移動
- 20日(水) 1年教室移動
- 22日(金) 終業式・離任式 大掃除